

## 出張報告書

### 『動物園におけるニホンザルの検疫研修及び沖縄本島野生動物に関する野外実習』

兼子明久

京大霊長研人類進化モデル研究センター

日時：2014年1月14日～16日

場所：沖縄本島

参加者：岡本宗裕（教授）、櫻庭陽子（D1）、愛洲星太郎（技術職員）、兼子明久（技術職員）

#### 【沖縄こどもの国動物園におけるニホンザル検疫研修お及び意見交換】

前回は引き続き、検疫の研修をおこなった。今回は同行者が別の新人と大学院生になり、今回も良い勉強と経験をさせて頂くことができた。また、動物園の金城獣医師とは沖縄の野生動物の現状と動物園がすべき関わりなど動物園が沖縄の野生動物とどう向き合っているか、実際のお話を聞くことができた。



園では野鳥の保護を積極的におこなっている

#### 【やんばる野生生物保護センター見学】

沖縄県北部、国頭村にあるやんばる野生生物保護センターを訪問した。環境省の自然保護管である山本さんを中心にマングース駆除とヤンバルクイナの保護についてのレクチャーを受け、実際の駆除活動をおこなっている南西環境研究所の人のお話も聞いた。現在、環境省管轄のやんばる北部でのマングース駆除は順調に進み、実際にヤンバルクイナやケナガネズミなどの希少種の保全に効果があるとのことだった。



マングース捜査犬の話聞く参加者

#### 【マングース北上防止柵の現場散策】

上記センターのマングース駆除作業の一環である、マングース北上防止柵を見に大宜見村の現場を散策した。2007年に沖縄県が琉球大学と共同で考案した全長4キロ以上の柵である。調査の結果から柵の設置はマングースの北上防止に効果があったようだ。



マングース北上防止柵

#### 【ヤンバルクイナ生態展示学習施設見学】

国頭村に2013年9月にオープンしたヤンバルクイナを展示している施設を訪問した。展示スペースは広く見やすく、保全の効果もあると思われる。実際に名護から来られていた訪問者がいた。地元の人意識が高まるほど素晴らしい保全効果はないと思う。スタッフのヤンバルクイナへの愛情もひしひしと伝わってきた。



ヤンバルクイナを間近で観察